

ピースおおさか展示リニューアル「基本設計」

【展示リニューアルの方向性】

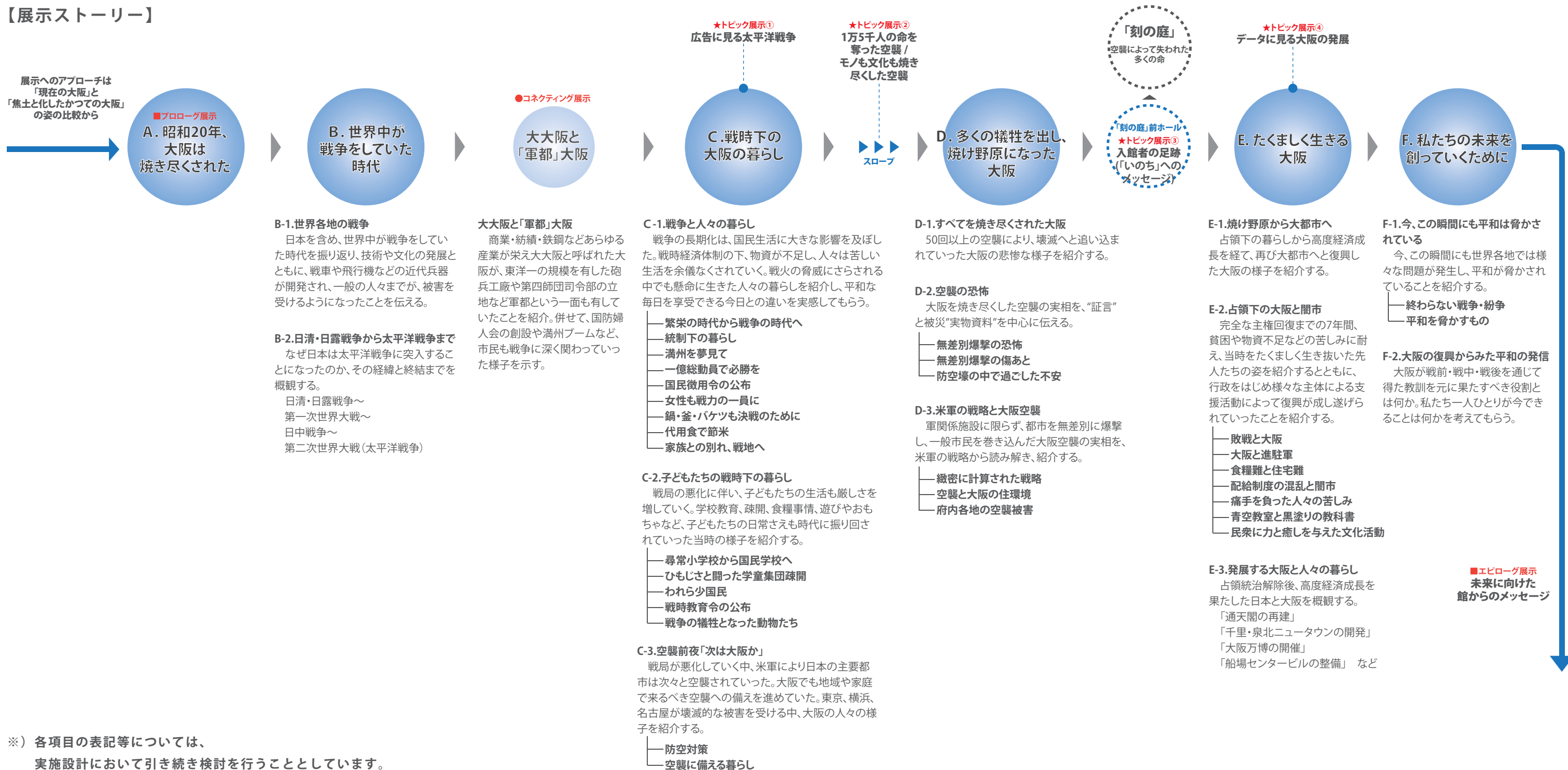
○展示リニューアルに当たっては、ピースおおさかの目的を次のように再構築し、次代を担う子どもたちが、大阪と戦争の関係や身近な地域に起こった空襲の事実を通して、戦争の悲惨さ、戦争の背景・メカニズムを理解するとともに、平和を自分自身の課題として考えることができる展示を目指すことを基本とする。

- 「目的」
- ・大阪空襲の犠牲者を追悼し、平和を祈念する
 - ・大阪空襲を中心にして「戦争の悲惨さ」「平和の尊さ」を次世代に伝え、平和を願う豊かな心を育む
- “大阪中心”に“子ども目線”で「平和を自分自身の課題として考えることができる展示」にリニューアルする。
- 「ピースおおさか展示リニューアル構想」（平成25年3月策定）より抜粋

【展示設計方針】

- 子ども目線の展示**
子どもたちの暮らしの変化の様子を軸に展開し、社会の急激な流れの中で子どもたちがどのような思いを抱いていたのかをクローズアップさせる展示とする。
- 実感できる展示**
「実物」はいわれのある、メッセージ性の高いものを中心にピックアップし、「証言」と組合せるなどして、リアリティのある展示とする。詳細な解説などは補助的な位置付けとし、無駄な情報の氾濫はさける。
- 知的好奇心を喚起させる展示**
「中に入ってみたくなる」「次が覗いてみたくなる」といった、人々を興味から行動へと導いていく展示を空間構成面と展示手法面の両方から行い、最後まで見たくなる展示を目指す。
- ローコスト、ハイパフォーマンスな展示**
戦争のあった時代を物語るものとして、最もパワーのある当時の「証言」と「実物」を中心に、「写真」も活用しながら展示メディアを構成。シンプルな形状であっても展開の仕方でも非常に興味深いものにすることが可能。

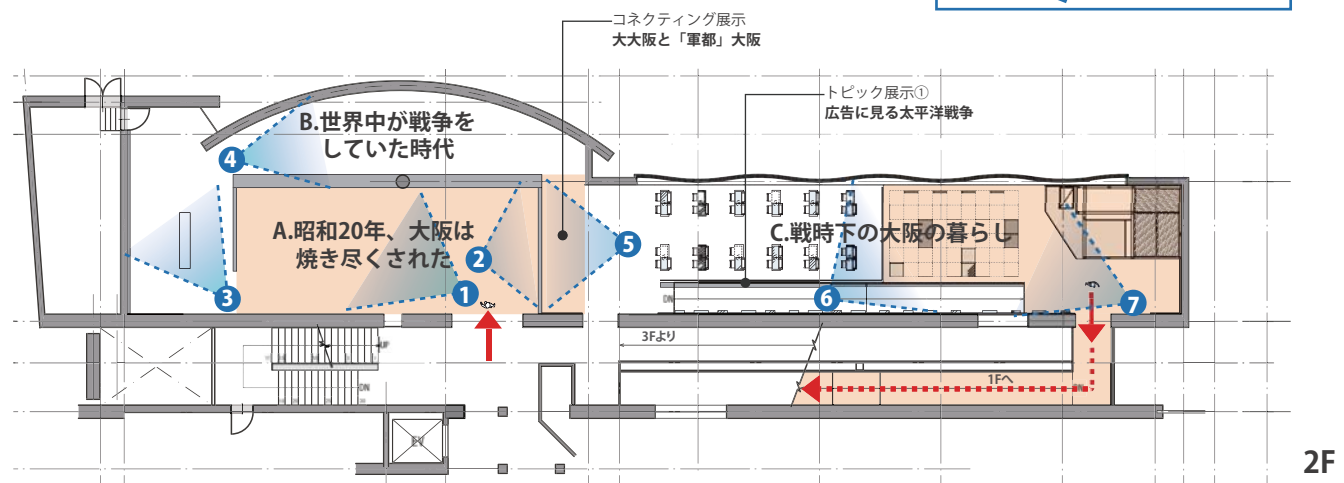
【展示ストーリー】



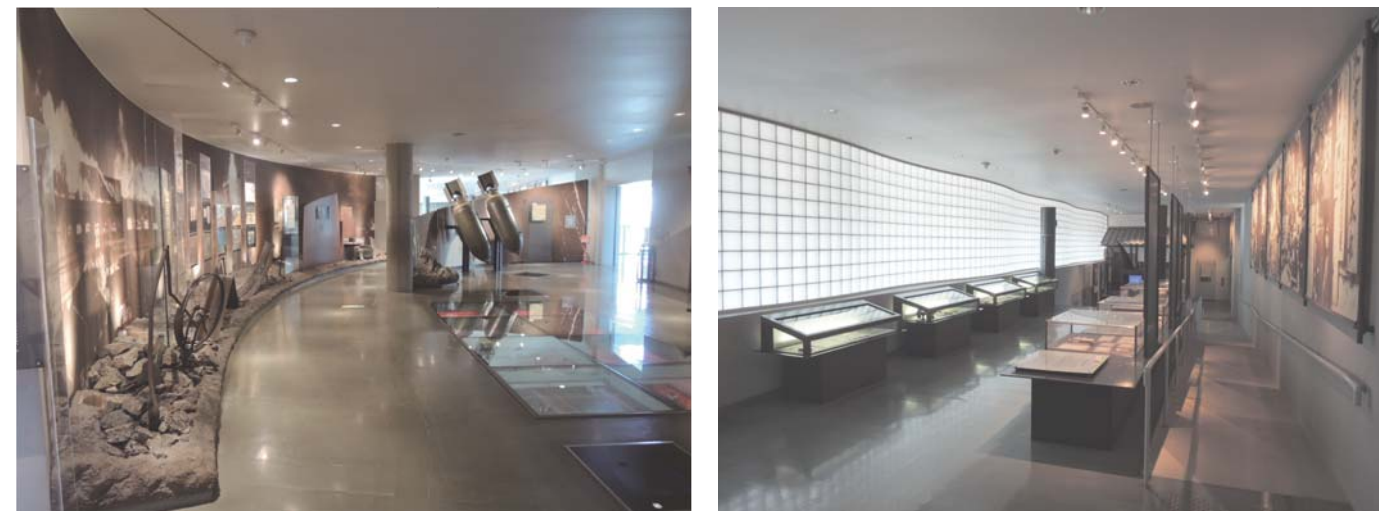
※) 各項目の表記等については、実施設計において引き続き検討を行うこととしています。

リニューアル後

：パースアングル



現状



イメージ図

A. 昭和20年、大阪は焼き尽くされた



B. 世界中が戦争をしていた時代



コネクティング展示・大大阪と「軍都」大阪

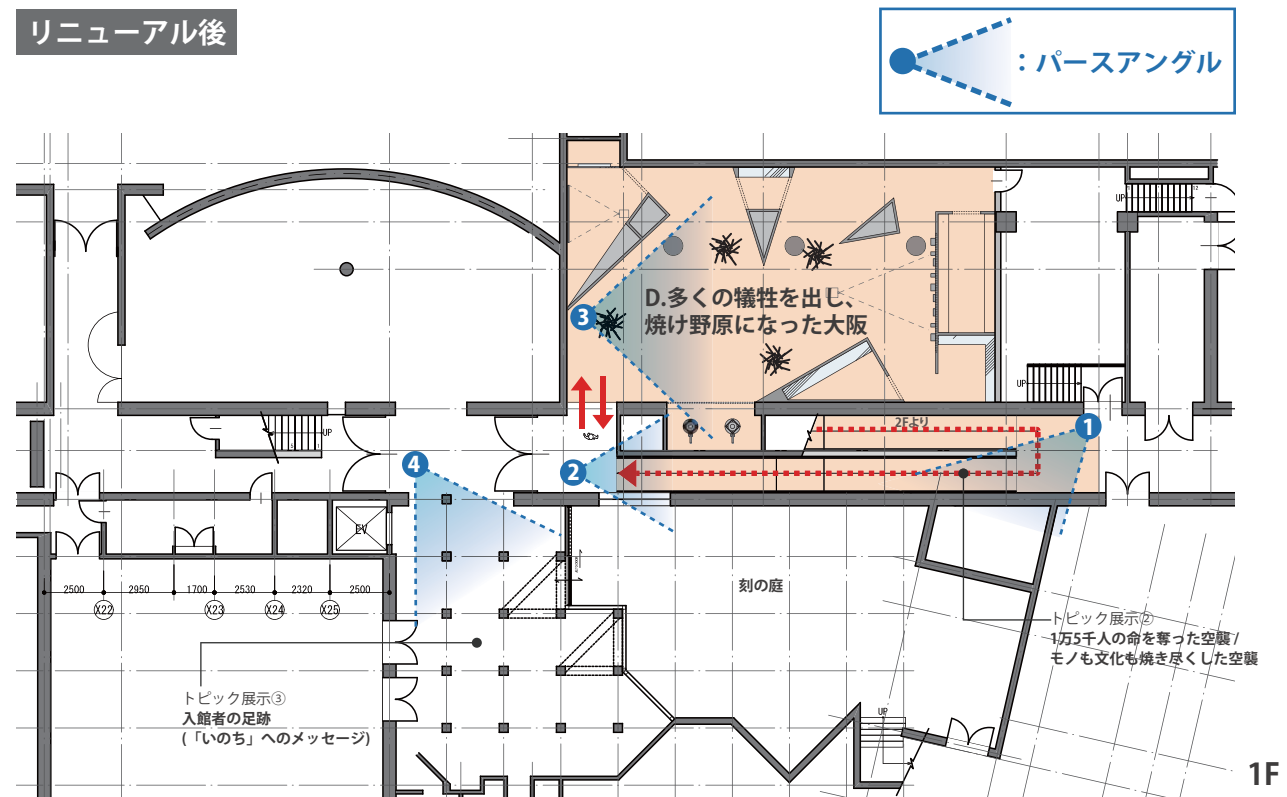


C. 戦時下の大阪の暮らし



※) イメージ図は、現設計段階のものであり、
確定した展示内容を示すものではありません。

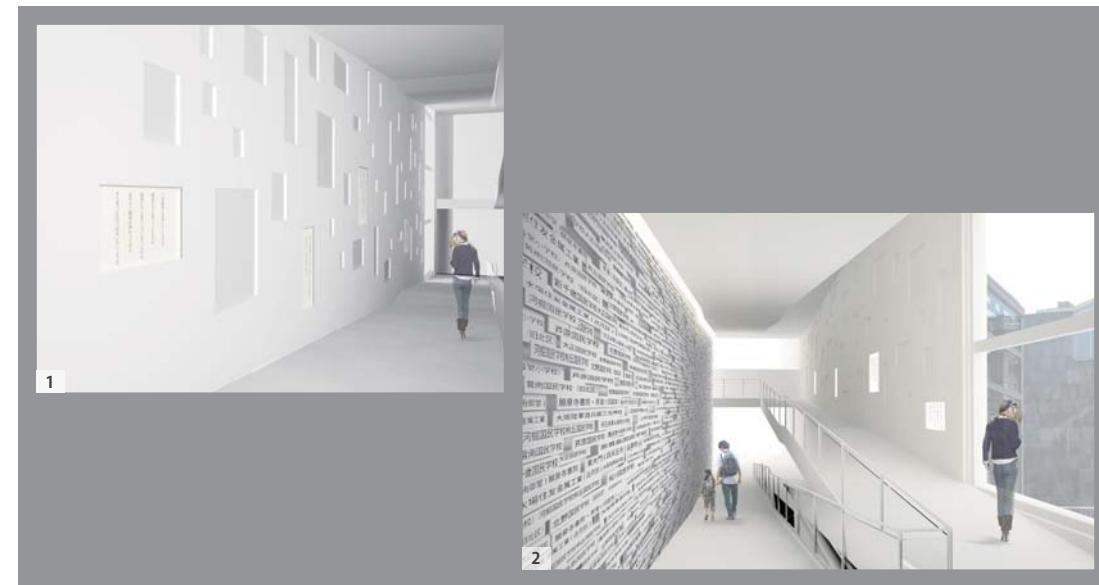
リニューアル後



現状



トピック展示②. 1万5千人の命を奪った空襲 / モノも文化も焼き尽くした空襲



トピック展示③. 入館者の足跡 (「いのち」へのメッセージ)

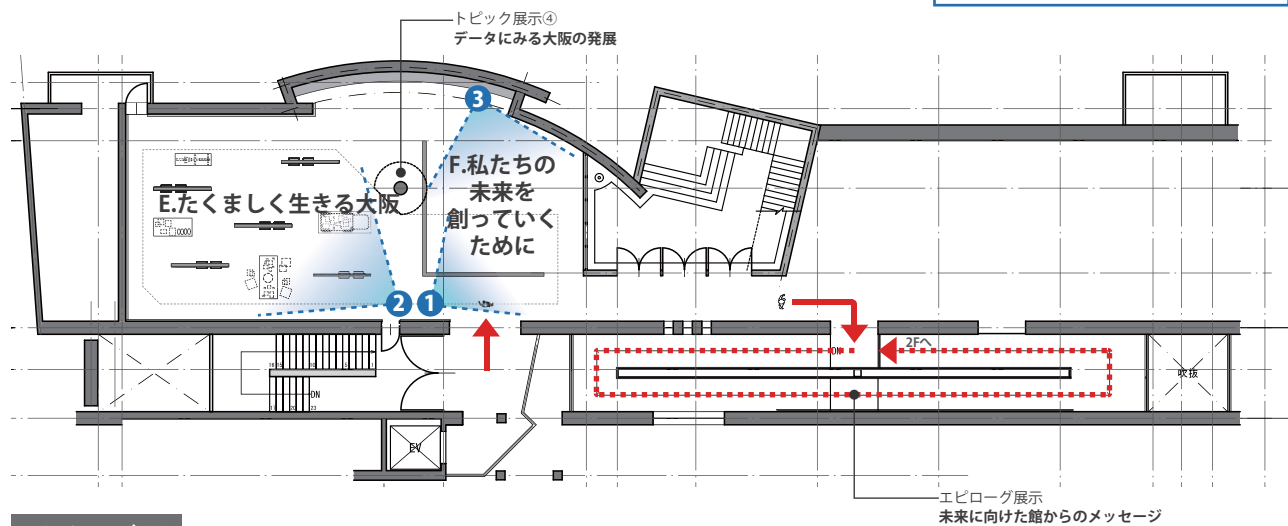


イメージ図

D. 多くの犠牲を出し、焼け野原になった大阪



リニューアル後



3F

現状



イメージ図

E. たくましく生きる大阪



F. 私たちの未来を創っていくために

